

令和4年度 第1回学校運営協議会 会議録

日 時：令和4年6月16日（木）15:30～16:45

場 所：会議室

学校運営委員：9名（評価5名、地域4名）

校長、副校長、教頭、総括教諭3名、事務長

出席者：6名（評価3名、地域3名）

校長、副校長、教頭、総括教諭2名、事務長、記録2名

<議 事>

【報告事項内容】

- ・学校運営の基本的な考え方及び教育計画について
- ・不祥事ゼロプログラム
- ・本年度の各グループの取組みについて

学務グループ、育成グループ、キャリアグループ、プログラミング教育研究推進

【協議事項内容】

- ・コミュニティ・スクールの実施体制について
- ・その他

(1) 学校の様子（部活動の結果、タウンニュース、学校見学デーに関して）

(2) 学校運営協議会年間の予定 () は学校行事

9月2日（金）第2回学校運営協議会 (課題研究発表会)

10月8日（土）学校評価部会、地域連携部会（文化祭）

12月15日（木） (完校式、課題研究発表スーパード)

3月9日（木）第3回学校運営協議会

【意見・要望】

- ・ 教員が一人で二役も三役も分掌を行い苦労されているが、皆さんが手を抜かずに取り組んでいて感心しました。
- ・ 毎年、課題研究発表会を拝見させていただき生徒の皆さんのプレゼンテーション能力の高さに驚かされている。今年も期待しています。
- ・ 教育課程で小学校も小中学校が連携してキャリア教育の充実をするように通達が来ている。また、小学校ではプログラミング教育が始まり、小学校の教員がキャリア教育やプログラミング教育で戸惑っているが、近所にそれらに熱心に取り組まれている相模原総合高校のような学校があったのに人材交流や小中高の縦の関係で連携がもっとできればよかったと残念に思います。短い期間ですがこれから残りの期間でもっと連携を図りたいと思います。

- ・ 今年に研修旅行を実施できたことは本当に良かった。学校での勉強も大切だが、研修旅行や芸術鑑賞会など、学校の外での体験のような生徒が成長する場を提供していただくのは非常にありがたいことです。
- ・ これまで自治会に協力していただき感謝している。コロナ禍以前は地域のお祭り等で校外連携という形で協力をしていただいていたが、今年度もお祭りの協力をお願いできずに非常に残念です。残り少ない期間も頑張っていたきたい
- ・ 昨年とは違い、今年度は体育祭に保護者が参加でき、制限がある中でもとても体育祭が盛り上がっていた。これから実施予定の文化祭もPTAが協力して一般の保護者の方も巻き込みながら盛り上げいきたいので学校と綿密に連携をさせていただきたい。
- ・ 完校のけじめとして12月15日に実施される式典もいいですが、もっと生徒たちを前面に出すようなことを計画していただきたい。仮に式典の中でそのようなことが実施が難しいのであれば文化祭等を含めた行事の中で何か生徒を前面に出すような企画をしていただきたい。生徒に寂しい思いで完校を迎えさせるのではなく、元気いっぱいな生徒を社会全体に見せるつもりで、完校を迎えていただきたい。

令和4年度 第2回学校運営協議会 会議録

日 時：令和4年9月2日（木）9:30～11:50

場 所：応接室、各教室

学校運営委員：9名（評価5名、地域4名）

校長、副校長、教頭、総括教諭3名、事務長

出席者：8名（評価5名、地域3名）

校長

<議 事>

【会議内容】

- ・学校目標に対する取り組み内容についての検証
- ・20年次生の課題研究発表会の見学

【意見・要望】

(学校目標に取り組みについて)

- ・地域貢献をしていただきありがとうございました。
- ・プログラミング的思考をすることで得られる良い点を明確に生徒に示してあげて下さい。
- ・総合高校としてのメリットを生かした授業が組み立てられていることが課題研究をみて感じました。
- ・部活動に関しては一度引退したのに子どもたちの「試合に出たい」思いを汲み取ってチャレンジさせていただき本当にありがとうございます。
- ・中学校では部活動の地域移行に向け学校としての関りは日々減少傾向にありますが、子どもの成長にとって部活動で学ぶことはとても多いと思います。統合されてもぜひ継続させてください。
- ・キャリア教育の理念のもと総合高校のアドバンテージを生かし展開されている。

(課題研究発表会について)

- ・本日の課題研究発表会を見ると、ICTを上手に活用して発表に臨んでいると思われる。内容についてもロジックがしっかりとしており、これもプログラミング的思考の一つと感じた。
- ・生徒の興味を持ったことを追究させてプレゼンさせるのが素晴らしいと思いました。テーマも学術的なものからサブカルチャーまで生徒が今夢中になっているものを調べ上げているのがよいと思います。プレゼン能力がすべての将来に必要なとは思いませんが、アウトプット、自己表現することは学校教育の課題であることにとどまらず精神衛生的にも人格形成にも必要なことだと思いました。

・発表内容については調べ事のまとめだけになってしまう生徒から、そこから考える社会的な問題提起、さらにはそれに対する個人の考えまで盛り込む生徒など様々ではありましたが生徒一人ひとりのテーマに対して指導されてきた先生方の情熱や根気強さに素晴らしさを感じました。また、個別の取り組みとはいえ、周囲の者の協力する姿勢や暖かく見守る姿に相総の生徒の人としての大きな成長を見ることができました。

・よく調べているなど率直に感じました。声が小さく聞き取り辛い子もいたのが残念でした。

・生徒の興味・関心に基づいた研究内容でその多様な内容に感心させられた。その研究テーマは「今」らしいテーマから将来、社会に関するテーマで見学者としても興味をそそられ発表を楽しく見させていただきました。

・10 分間の発表でしたが、内容も伝えたい部分をしっかりとまとめ実際の調査やデータをもとに想像ではなく科学的に分析していた。中学生にもぜひ見させて参考にさせたかった。

・発表者は聞き手をうまく同調させている人がいた。同学年の前で研究成果を話すことはいい経験です。

・自分の興味関心からテーマを設定し、アンケートを実施し調べもWebを中心によくできていました。高校生の発信力、よく磨かれています。

令和4年度 第3回学校運営協議会 会議録

日 時：令和5年3月9日（木）13:30～14:30

場 所：会議室

学校運営委員：9名（評価5名、地域4名）

校長、副校長、事務長、総括教諭3名、教諭5名

出席者：8名（評価5名、地域3名）

校長、副校長、事務長、総括教諭2名、教諭4名

<議 事>

【会議内容】

- ・令和4年度学校評価について
- ・各グループの取組について

【意見・要望】（順不同、一部抜粋）

- ・学区内の高校がなくなるのは残念だ。
- ・タウンニュースを見て、卒業式は子どもを中心にしていたことがよくわかった。
- ・授業では基礎、基本を身に付けることができている。個性を伸ばすことのバランスが難しい。
- ・卒業式の翌日から工事車両が入っていて寂しい思いだ。
- ・地域に貢献した高校で、珍しいと思う。部活動、委員会、授業等での貢献があった。
- ・課題研究で学んだ生徒たちは将来羽ばたくことが期待できる。
- ・この4月から赴任したため、相総とは一年間のおつきあいだったが、非常に濃い1年だった。
- ・相総は創立の時から注目していた。
- ・課題研究は完校式でのファイナルの発表者は将来どうなるか、楽しみだ。高校時代、何かに夢中になれるかがあるといい。子どもたちが生き生きしていた。インプットばかりでなくアウトプットがあることが大切。
- ・生徒指導について、登下校の様子が穏やかであった。
小学生たちが近くを通っても優しく接してくれた。
- ・地域との協同について、大豆の栽培や味噌づくりなどで大島小の子どもたちが敷地に入って学ぶことができたことに感謝したい。
- ・最後の卒業生への先生方の愛情を感じた。
- ・毎年、各種検定に合格している生徒が多いのは目的をもって勉強しているからだといえる。
- ・課題研究を楽しみにしていた。特に完校式の4人は素晴らしかった。人前で発表できる経験ができた相総生は幸せだと思う。先生方の熱心な指導の賜物と言える。
- ・相模原北公園のロードレース大会では陸上部が、秋祭りにはダンス部が参加して

くれた。地域としては感謝しており、誇らしく感じている。指導していた先生方は大変だったと思う。

- ・ 進路指導において実績の数字を見ても素晴らしいと思う。
- ・ この夏、大沢中学の改修のため、相総のグラウンドや体育館を野球部やバスケ部が借りた。生徒たちは喜んでた。
- ・ 課題研究は生徒を連れて見せたかった。生徒たちの参考になったはずだ。
- ・ 私は中学の教員として津久井、城山の学校から、大沢高校の時代から生徒を送り出していただけに感慨深いものがある。
- ・ 花火大会の時はグラウンドの外から様子を見させてもらった。
- ・ コロナ前はレクで生徒にかかわってもらっていた。
- ・ 私は令和2年から着任したため、この3年間、自治会としての活動は十分にできなかったが、相総とは連携できていたと思う。
- ・ この地区から高校がなくなることはとても残念。
- ・ 地域の別団体では相総の校長・副校長にも委員として活動してもらい感謝している。
- ・ 子どもたち3人が計9年間お世話になった。上の兄弟は90分授業、制服、課題研究に魅力を感じて入学、生徒が主体的に動くのをPTAの役員として行事に参加する中で体験し、以来下の子たちには私が勧めた。
- ・ 100分授業は上級学校に進学してから役に立っている。いい環境で学んだと思う。
- ・ 部活動では礼儀や上下関係も教えてもらった。末っ子はコロナ下で受験、卒業したため地域との交流ができず残念だったが、それまでの卒業生たちが地域との交流があったことで暖かく受け入れてもらえたのだと思う。
- ・ 相総がなくなることに胸が締め付けられる思いだ。
- ・ 素晴らしい教育をされてきた。
- ・ 今年度の開講科目が120あり、ほとんど減らさなかったことは素晴らしい。科目数は激減するものと思っていた。
- ・ 卒業式後の特別セレモニーは、素晴らしい教育があったことがわかる。
- ・ プログラミング教育も最後の一年、充実していたことがわかる。
- ・ 課題研究は楽しみに見せてもらった。特に完校式で発表した代表生徒の4人には驚いた。自分の勤務する専門学校に進学した相総生は高校時代、課題研究の印象が一番心に残っているようだ。
- ・ PTAの広報誌、生徒たちの表情が実に素晴らしい。先生方の表情も素晴らしい。校長を中心に教職員の皆さんが協力して頑張ったということがよくわかった。